

和木自主防災協議会

和木自主防災協議会は平成19年4月1日に設立し、現在49名の会員で構成されています。

本会は、和木区民が一体となって自主的な防災・防火対策を総合的に推進し、被害の防止と軽減を図ることを目的に、毎年防災訓練を実施しています。

今年度は、令和6年11月24日（日）に【南海トラフ巨大地震】を想定した訓練を実施しました。内容的には初めて、和木・箱川地域への地震防災訓練告知放送を流し、緊急地震速報の専用ブザー音を合図に、身の安全を守る行動「安全行動1→2→3」を各家庭で実施していただきました。その後、和木地域ふれあい交流センターに避難所を開設し、防災意識を高めるために以下の訓練を行いました。

- ・怪我人に対するの担架搬送・応急処置などの実動訓練
- ・停電を想定した炊き出しの訓練及び防災倉庫資機材点検等
- ・消防署職員によるAED操作・応急手当の講習

写真については、今年度の訓練風景の一部です。又、実際に避難情報が発令された際には避難所を開設し、避難行動要支援者名簿記載者を対象に各地区代表者（情報連絡班）が早期の呼びかけ安否確認を実践しています。



担架搬送（自宅前から交流センター）



資機材点検（発電機）



AED操作の訓練及び応急手当の講習



炊き出し風景（トン汁）